

宮田用水暗渠化の事業に至った経緯は

竹村 仁司議員



県営水質保全対策事業として採択された
産業建設部長

問 稲沢市祖父江町を通り愛西市淵高町につながる宮田用水を、地区名でいうと法立西井筋地区という。排水専用水路となつてからは、水質汚濁による環境悪化を起こし、その解消を暗渠化によって望む声は数十年にわたると聞く。淵高町の地域住民は、平成26年に当時の総代を中心に地域の声として、宮田用水の暗渠化に対する同意書を集め、その後、地域で推進協議会を立ち上げ、市及び県に対して要望書を提出した。26年以前の市の考えとして、旧佐織町時代も含め宮田用水に関してはどのような考えを持っていたのか。また、30年度暗渠化の事業に至った経緯は。

答 平成26年度以前にも法立西井筋の水路改修に向けて調査・検討を行っていたが、事業化には至らなかった。関係機関との調整も整い、県営水質保全対策事業として採択

され、水路改修の手法として暗渠化となった。

問 住民の声は、用水の暗渠化とともに市道108号線の改修を求めている。改修をどのように実現させていくのか。

答 この路線は、地元地区においても重要な生活道路となっている。今回の水路改修にあわせて道路整備を行っていく考えである。

問 現時点で予測される工事開始地点は。また、工事日程については、何年ほどかかる計画なのか。

答 稲沢市平和町のクラシエホームプロダクツ株式会社事務所の北側の水路の東側で、順次、西側に向かつて進み、その後、北側へ進んでいく。事業については、平成30年度から令和6年度までの7年間の予定。

問 この事業の総額は。国・県・市のそれぞれの

割合はどうなるのか。

答 市の負担金の総額は約1億7千万円。事業割合は、国50%、県40%、市10%。

問 排水路の上部利用は、現段階での計画で、道路幅・歩道幅など検討中の内容は。

答 車道については対面通行ができ、あわせて歩道を設置する予定。



▲宮田用水(中央)と市道108号線(左側)

問 市長として、この事業に対する考えは。

答 地元の方々や、関係者の方々が、事業をやつてよかつたという形にしていきたい。現地確認をして、災害・地震等があつた場合に、非常に心配をされる状況ではないか、との認識を持つている。

その他の質問

●道の駅周辺整備事業は